

司書の顔がうっすら見えるマガジン

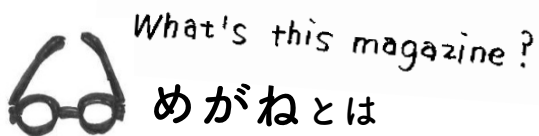
めがね

第4回

本を読むって、

心が豊かになるといふけれど。

名古屋市鶴舞中央図書館

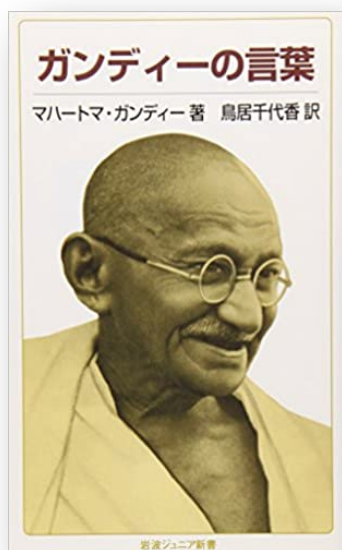


この冊子は、図書館で働いている私たちのことを
うっすら知ってほしいという思いで作っています。
名前の由来は図書館司書＝めがねというイメージから。

＼ めがね な 1 冊 ／

ガンディーの言葉（岩波ジュニア新書）

マハートマ・ガンディー／著 鳥居千代香／訳
岩波書店



昨年、ガンディーのめがねがオークションに出品され、約 3600 万円で落札されました。ガンディーは古くなったり使わなくなったりしためがねを恩人に渡すことがあったそうで、このめがねも出品者の親族がガンディー本人から譲り受けたのだとか。

「インド独立の父」と呼ばれ、非暴力・不服従を唱えたことで有名なガンディー。この本では、彼がのこしたさまざまな言葉を通してその思想を紹介しています。

「少数派は、多数派と同じくらい貴重な国民であるということが、はっきりと理解されなければなりません」。3600 万円の価値があるかどうかはわかりませんが、金縁の丸めがねを見るたびに、ガンディーがあらゆる人々に向けたやさしい眼差しを思い出せるといいですね。

* 図書館の中での置き場所などくわしいことはおたずねください。

第四回

本を読むと、

心が豊かになるというけれど。



感染対策のため家で過ごす時間が増えたことをきっかけに、本を（今まで以上に）読むようになった方も多いのではないのでしょうか。それを一過性のブームで終わらせてしまうのはもったいない。今後もどうか読み続けてほしい。そう考えて、今回の特集は司書のおすすめの本と読書観を紹介するというド直球の内容になりました。

心の豊かさを測るものさしはありません。けれど、あなたの体はあなたが食べてきたものでできているように、あなたの心（の何パーセントか）は、あなたが読んできた本でできている。そんなふうに思うのです。願わくはこれからのあなたの読書体験が、あなたの人生をもっと楽しく、面白い方へと導いてくれますように！

時には現実から逃避したっていいと思うんです。

和田彩子さん（奉仕第二係・勤続2年目）



—今日はどんな本を持ってきたくれましたか。

J・K・ローリングの「ハリー・ポッター」シリーズ*1です。

—世界中にファンがいる大人気ファンタジーですね。読もうと思ったきっかけは？

小学生の時に、部活の先輩が読んでいたのを見て私も読み始めて、すっかりハマりました。私の青春の一部です。ほぼ毎年出版されていて、自分と同じように学年が上がっていくし、年も近いので友達みたいな感じで。ハリーたちといっしょにいろんな困難を乗り越えてきたような気持ちで読んでましたね。

—共に成長してきた同志みたいだと。好きなキャラクターはいますか？

スネイプ先生です。大人になった今でも大好きです（笑）。孤高でカッコいい。ラストで明かされる真実にはグツときましたね。

—確かに。最終巻で一気に心をわしづかみにされますよね！本を読むのは小さい頃から好きでしたか？

はい。よく読んでました。親が図書館に連れて行ってくれて。あと絵本の読み聞かせもしてくれてたらしいです。全然記憶にないですけど（笑）。

—（笑）。潜在意識に「本は良いもの」って刷りこまれていったのかもしれないね。それで大人になって図書館で働こうと思った？

ところが最初はそうではなくて。本に携わる



胸元のピンバッジにはハーマイオニーのセリフが。「When in doubt, go to the library.（わからないことがあれば図書館へ）」。

仕事がしたいなとは思ってたんですけど、作家とか、出版社とか、作り手側になりたかったんです。で、一度小さな出版社に就職したんですけど、地元に戻りたくなったので数年で辞めて。作家になる才能もないし、だったら他にどんな仕事があるだろうって考えて、最終的に図書館で働くことになりました。

—実際に働いてみてどうですか？

まだまだ至らないことも多いですが楽しいです。今担当してる仕事も*₂もって経験を積みたいですし、将来的には児童サービスにも携われたらと思っています。子どもはダイレクトに反応を返してくれるのでやりがいがありますね。前に調べものを手伝った子がお礼の手紙を書いてきてくれたことがあって、とてもうれしかったです。

—コロナ禍で図書館でもおはなし会が一時的に中止されたり*₃、いろいろな変化がありました。自身の生活には何か影響はありましたか。

大きな変化は特にはないですが…ミュージカルが好きで、前は大阪とかよく観に行ってたんですけど、それに行けなくなったのが残念

ですね。代わりに家でごろごろする時間が増えてしまいました(笑)。

—ミュージカル! どんなところが好きなんですか？

感情を揺さぶられるところが好きです。ふわあゝって。

—(笑)。

好みの本に出会った時も似たような状態になりますね。今でもファンタジーはよく読んでいて、〈十二国記〉シリーズ*₄や〈八咫鳥〉シリーズ*₅など大好きなんですけど、読むとふわふわして幸せな気持ちになれるのがいいですね。それが何日も続いて。目に映るもの全てが輝いて見えます。

—恐るべき効果ですね。

よく本を読むことは“ただの現実逃避だ”とか言われたりするじゃないですか。それに対して本好きな人が“いや、もっと高尚なものだ”って反論したり。でも私は、現実逃避で何が悪いの? って思います。現実とは違う場

所、自分の心を守る場所をちゃんと持つって、生きていく上でとても大切なことだと思うんですね。

おまけ 本以外にあなたを「豊か」にするものは?

ピアノです。小学生の時から習っていて、今でも弾いています。練習したらその分だけ弾けるようになるので、成長が実感できる場所がいいですね。

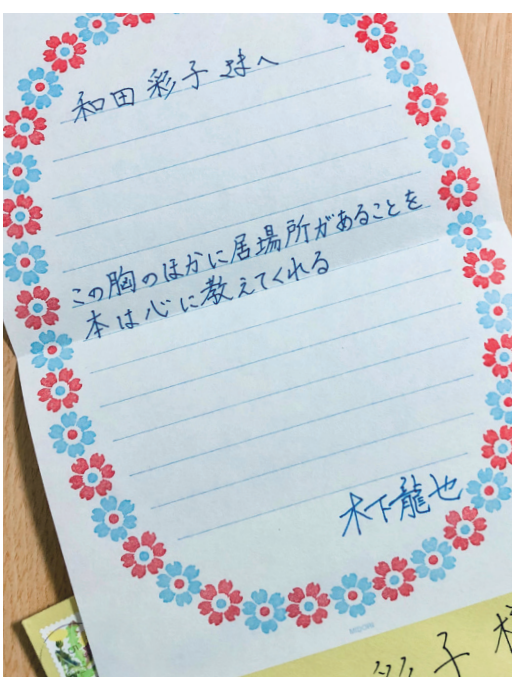
*1 現在展覧会「ハリー・ポッターと魔法の歴史」が兵庫県で開催中(その後東京に巡回)。ファン必見。

*2 奉仕第二係は調べ物のお手伝いをする部署。大きいお客さんが多いが、小さいお客さんも大歓迎。

*3 2021年9月現在は事前予約制で再開。

*4 *5 どちらも中毒者続出のシリーズ。未読の方はぜひ。

好きな歌人・木下龍也さんに詠んでもらった一首。
お題は「(良い意味での) 現実逃避としての読書」。



ままならない人生に、少しの自由を。

成田康弘さん（情報システム係・勤続16年目）

—まずは本を読みはじめたきっかけを教えてください。

自動車図書館「わかくさ号」^{*1}に通い出したのがきっかけで、たぶん小学生の頃。うちの家族は全然本を読まなかったから、それが本格的な本との出会い。ヴェルヌの『海底二万里』などを見つけて夢中になった。ヴェルヌは他の作品も好きで、大人になってから全24巻の全集も買いそろえたよ。

—名古屋図書館がきっかけなんて、館長が聞いたら喜びそう（笑）。ヴェルヌといえば古典SFですが、そのジャンルをよく読んだんですか？

確かにSFは好きだけど、ジャンルには特にこだわりはなくて、大河的に、何巻も続く作品をよく読んだかな。『指輪物語』『三銃士』、



『膚の下』 神林長平／著 早川書房

『鬼平犯科帳』：ドストエフスキーの全集も読んだ。とにかく長くて、いわゆる古典と言われるものを読んだ。主に大学生の頃ね。

—今日は人生に衝撃を与えた！っていう本を持ってきました。

神林長平の『膚（はだえ）の下』。ざっくり言うと、人造人間が地球を修復する話なんだけ

ど。リサイクル会^{*2}で最後まで残っていて、どうせ廃棄されるならと持ち帰って。すごく分厚い本なんだよね。新幹線で移動する時のひまつぶしにと思って読みはじめたら止まらなくなつて、長旅もあつという間だった。それまではさっきも言ったように、読むのは古典が中心だったけど、この本がきっかけで現代のSF作品にも目が向くようになった。

—読書傾向まで変えてしまったんですね。何がそこまで響いたんでしょうか？

変えたというか…それまでもそうだったけど、物語の内容うんぬんより、書き手の“執念”を感じさせる作品が好きなんだと思う。神林先生はこの作品のことを“人間がいなくなった世界で、人造人間にとってのバイブルになればという気持ちで書いた”と言っていて、その気持ちが行間からひしひしと感じられた。自分の命を削ってでも書きたい、書かずにい

られなかったっていう作品を読みたいんだな。

―なるほど。ストーリーよりも、作家さんの
思いの強さに惹かれると。小説以外の本につ
いてはどうでしょう。普段から読みますか？

読むよ。基本は「雑食」だから、その時々
の興味に応じて。以前は自然・工学分野の本の
担当だったから、脳科学の本をよく読んだ。

情報システム係に異動してからは、通信手段
について興味を持って：まだ電気がなかった
時代の通信手段をたどっていくと、のろしと
か腕木（うでぎ）信号機とかいろいろあるけ
ど、中でもハトが一番速くて正確な手段だっ
たと知って、奥深い世界だなと。職員寮に住
んでいた頃はベランダに巣を作ろうとするから
大嫌いだったんだけど（笑）。

―（笑）。環境に合わせて柔軟に。その時々で
興味の方向を変えられるのはいいいことですね。

人生ってままならないことばかりでしょう。
その中で、いかにささやかな楽しみを見つけ
られるかが大事というか。今の係だっ
て希望して異動したわけじゃないのに、すご
く忙しくて[＊]。残業も多い。でも遅く帰るから

こそ、途中にあるパン屋さんで値引きされた
パンが買える、やった、みたいな（笑）。読む
本にしても、どうせなら環境に背を向けるん
じゃなくて、そこに合わせてみると、面白い
発見があったり、新しい知識が得られたりし
て。ままならない中でも、わずかに「自由」
を手にできる。

―今回のコロナ禍はまさに生活のあらゆる場
面に大きな変化をもたらしました。読む本に
も影響はありましたか？

そこについては、逆に影響はなかった。古典
をよく読んでいたっていう話に戻るけど、長
く読み継がれているものって、いつまでも古
びないというか、時流に左右されない。そう
いうものが好きなんだと思う。作家によつて
は大きな出来事をきっかけに作風を変えたり、
題材として積極的に取り上げたりする人もい
ると思うけど：大きな地震が起こったり、深
刻な感染症が広まったり、世界ではいろいろ
なことが起こるけど、それでも相変わらず人
造人間の話を書き続ける人の方が信頼できる。
そういう作品が、自分が生きる上での芯とい
うか、軸になってると思う。

*1 名古屋市図書館が2002年まで運営していた自動
車図書館。現在は別の2台が活躍中。

*2 不用図書リサイクル会。今年度は密を避けるため中止。

*3 取材時は電子書籍サービス開始に向けての作業の最
中だった。詳しくはp.10。

おまけ 本以外にあなたを「豊か」にするものは？

ポイントを集めるのが好きです。シールとかスタン
プを集めるのも好き。何かのキャンペーンがあると
応募せずにいられない。でもパスコの「春のプレゼ
ント」はやめました、パンばかり食べるのが苦し
くて（笑）。近頃はポイントほしさに買い物してしま
うこともあって、自分でも困っています。どうした
らいいですかね。



どんな本でもそろって、自分で選べるということ。

川崎裕子さん（奉仕第二係・勤続19年目）

—川崎さんは山登りが趣味ということで、本も山に関するものを用意してもらいました。

一冊目は『展望の山旅』。山座同定^{*1}をするための本ですね。スマホのアプリでも同定はできるけど、この本にはそれ以上の魅力があります。ページをめくりながら実際に登るところを想像するのが楽しいですね。

—山登りを始めたきっかけは？

名古屋市図書館で働く前は、静岡の高校で学校司書をしていました。周りに娯楽が何もないところで、山岳部の顧問の先生に連れられて登ったことがきっかけです。職場に山好きな人が多かったこともあって、その後も登るようになりました。

—山登りってすごく疲れそうですけど…

きつくないように、無理のない行程で登れば大丈夫。それと私の場合、何が何でも頂上を目指したいわけじゃないので。道に咲いている高山植物を眺めたり、ごはんがおいしい山小屋に泊まったり、あるいは静かな空間で何もせずぼーっとしたり。そんなことが、私にとっての山登りの魅力かな。

—なるほど。二冊目はどんな本ですか。

若菜晃子さんの『街と山のあいだ』。タイトル通り、がっつり登山の話というより、山とその周辺にまつわるエッセイです。若菜さんの静謐な文章がすごく好きで。中でも、生前の串田孫一^{*2}とはがきでやりとりをした時の思い出エピソードがお気に入りです。

—少し引用してみます。『ハズレ、とローマ字で書かれたはがきをいただいた。（中略）今

なら先生のヒントも理解できるかもしれない。しかしだからといって、私は大事にとってあるそのはがきを出してきてもう一度見直そうとは思わない。先生はもう私の相手をしては下さらないのだから”

最後にしんとなくなるところが最高ですね。



雷鳥（冬バージョン）のブローチに木のうつわに山小屋オリジナルの手ぬぐい。山にまつわるグッズを集めるのも楽しみ。

―本が好きになったのはいつ頃ですか。

子どもの頃から好きでしたよ。うちは転勤族だったんですが、行く先々で近くに図書館があった、すごく恵まれてたと思う。親がシリーズの一卷目だけ買ってくれて、続きは図書館で、みたいなこともよくありました。『ライオンと魔女』*₃を読んだら、次も読みたいじゃないですか。それで通うっていう(笑)。



―上手に誘導されてる(笑)。

あと東京に住んでいた時に「書原」*₄っていう本屋さんが近くにあって。店主の方が選り抜いた本が並んでいるという印象で、よく通っていました。

―こだわりがつまった本屋さんっていいですね。反対に図書館で働いている私たちは、あまり積極的に特定の本を利用者にすすめるはしません。本屋さんと図書館との違いについてはどう思いますか。

うーん、難しい質問ですね。私自身は、子どもの頃も、司書さんと特別仲良くなったっていうのはなくて。本棚を見て、自分が面白そうと思った本を借りていました。図書館にはあらゆるジャンルの本がそろっていて、何に関心を持っている人にも開かれている。そして自分で選ぶ権利がある。それが大切だと思います。もちろん本だったら何でもいいわけではなくて、似たような本がたくさんある中から、きちんと選書するわけだけど。そんなに売れてない本も、絶版になった本も、図書館に行ったら読めるってことも魅力だよね。

―いい本を偏りなく並べるのが司書の役割だと。

司書の顔が見えることも大事だけど、一方であらゆる利用者の「読みたい」に淡々と応え続ける黒子的な役割も欠かせないと思う。私がこれからやりたいのは、もっと図書館の数を増やして、どこに住んでいる人でもアクセスしやすいようにすること。理想は「自転車です15分の距離」かな。

おまけ 本以外にあなたを「豊か」にするものは？

クラシックギターを習っています。基本的には自分が弾きたいと思った曲を先生に伝えてレッスンをつけてもらうという感じ。ギタリスト大萩康司さんが弾く「11月のある日」が好きで、よく弾いています。図書館で演奏会をしてほしい？ いやいや、顔は見えてなくていいって(笑)。

*1 山登りをした際に、展望できる山の名前を確認する作業のこと。

*2 詩人、哲学者、随筆家。中学時代から登山を始め、後に山の文芸誌『アルプ』を創刊したほか、山にまつわる著作も多い。山好きなら一冊は読んでおきたいところ。

*3 「ナルニア国物語」シリーズの一卷目。一部は映画化されたが、原作は全部で七巻もある超大作ファンタジー。

*4 都内に数店舗をかまえる書店。そのうち南阿佐ヶ谷店は個性的な品ぞろえで多くの人から愛されていたが、惜しまれつつ平成29年に閉店。

右:『街と山のあいだ』(若菜晃子/著 アノニマ・スタジオ)
左:『展望の山旅 山から見る山・町から見る山』(藤本一美・田代博/編著 実業之日本社)



面白い。司書の先輩から教えてもらったんですが、舞台として愛知も登場するんですよ。「何の見所もない」ってディスられてます。まあちゃんと褒められてる部分もありますが。あと古典といえば西郷信綱さんの著作が…（古典の話が続くが長いので割愛）。

---ラテン語ももう何年かやってますよね。

か：うちの子どもまで覚えてしまって「コギト エルゴスム (cogito, ergo sum: 我思う、ゆえに我あり)」なんて言いますね。ラテン語をはじめたのはオッカム（中世ヨーロッパの哲学者）の著作を原文で読みたいからです。それにラテン語ができる職員がいると、図書館として好ましい気がします。まだまだですけどね。

---今回のテーマが「本を読むと、心が豊かになる」というけれど。」なんですが、これだけたくさん読んできると、豊かになってる実感はありますか。

か：いやどれだけ読んでも心はささくれたままですね。豊かなのは自分ではなくて、世界の方ではないでしょうか。本を読むことで、世界の豊かさを知ることができる。そしてそのことを

他の誰かと共有することで、また世界が広がるし、豊かになる。

---すてきな考え方です。

か：まあ他の人の受け売り&アレンジですけどね。あと自分が読んだ本について話すと、相手も話してくれるのが楽しみです。わたしはハングルを勉強してたよとか、大学で国文学を専攻してたよとか。そうやって今まで知らなかったその人の一面がわかる。ちなみに僕も大学では韓国朝鮮語クラスでした。

---本の話題を介して人間関係も深まりますね。

か：僕に触発されてラテン語を始めたという職員さんもいるんですよ。我ながら、職場に良い影響を与えているなと思います。

どちらも見た
ただで特に役には立ちません。



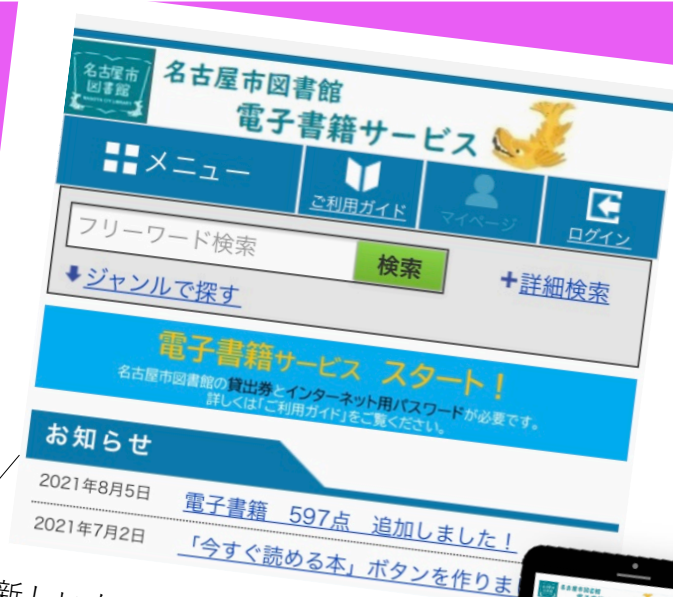
好きなドラえもん
の道具は「みせ
かけミサイル」と「ハ
ッターリバズー
カ」です。



僕たちの血と涙の結晶を
ぜひご利用ください！

成田さん (p.6)

新しいものにはだいたい消極的な
我が図書館でも、ついに電子書籍サ
ービスが始まりました！スマホで
PCで、いつでもどこでも図書館を
持ち歩けます。※まずは窓口でパス
ワードを発行しましょう（要本人確
認）。



図書館に電子の
波がやってきたー！



としよかんニユース

図書館司書にインタビュー！ 自由研究は終わらない



何気に水玉くつ下

第②回 川嶋章平さん（奉仕第一係）

難しい科学や哲学の理論から、ドラえものの道具の名前まで。川嶋さんは、尋常ではない知識と語彙力で、周囲に驚きと発見を与えてくれる人です。その知識はどうやって身につけているのか。話を聞いてみました。

---今取り組んでいるのはどんなことですか。

川嶋（以下か）：ラテン語と、日本の古典と、人文の古典と、英語基礎と、英語読解と…

---多い多い！そんなにたくさん一体いつやってるんですか。

か：ごはんを食べながらとか、子どもを保育園に送って行って出勤するまでのすきま時間とか。職場でも休憩中に読むし、夜も寝る前に少し。



ただ虚心坦懐に学ぶべし！

話に出た本以外にも持参したポーチの中には文庫本がぎっしり。「本屋に行くとき必ず何冊も買ってしまう」

---家族からは何も言われないんですか。

か：英文を暗唱しながらごはんを食べていたら、飛沫を飛ばさないでと言われました。

---ちゃんと感染対策してくださいよ。すきあらば読んでますね。

か：この前ワクチンを打ったときも、副反応がすごい中、頑張ってノルマを達成しました。

---どうしてそんなに勉強するんですか。

か：知識不足を感じるからです。自分の中に土台がまだできてない。周りの友人を見ていると全然足りないと思います。学生の際は勉強をしていたと思い込んでいただけだったのです。その時の遅れを取り戻したい。

---知識を得たいのはどうしてでしょう。

か：理由はいろいろありますが、本を読むことで、自分の中にある疑問や課題を整理できるというのが大きいです。

---ということ？

か：たとえばケンダル・ウォルトンの『フィクションとは何かーごっこ遊びと芸術ー』という本があります。僕はイマジナリーフレンド（空想上の友だち）から「イマジナリー」が取れる（赤毛のアンやドラえもんは「実在」する）という立場をとっているのですが、この本を読んで、この立場がどのように批判されうるのかということが、自分の中である程度整理できたように思います。

---ちょっと理解が追いつかないですが整理できたならよかったです。古典文学には何か発見がありましたか。

か：『徒然草』は6ヶ月かけて読み終えましたが、勉強不足のためうまく楽しめないところも多かったです。今読んでいる『更級日記』は

名古屋市鶴舞中央図書館について

大正時代に開館して以来、あらゆる書物をせっせと収集・保存し続け、現在の蔵書は約 140 万冊。貴重な古典籍なども多く所蔵しており、一部はネット上で見ることができます（くわしくは「なごやコレクション」で検索を。twitter でも順次紹介中）。

来館して本を借りるときには貸出券の発行が必要です。窓口で本人確認できるものをお見せください（対象は愛知県に在住・在勤・在学の方）。人と会えない／会いたくない時も、本はそっと寄り添ってくれます。どんな本を読めばいいかわからない場合は、どうぞ図書館にご相談ください。

幸福への門？

人生の目的？

発行：2021 年 9 月

名古屋市鶴舞中央図書館

電話：052-741-3131
FAX：052-733-6337



←バックナンバー
はこちらから！

この印刷物は再生紙を使用しています。感想お待ちしております。